

エボラ出血熱の流行について(注意喚起)

海外渡航予定の学生・教職員の皆さんへ

外務省海外安全ホームページによれば、西アフリカのギニア、リベリア及びシエラレオネにおいて、エボラ出血熱が流行しています。また、10月23日、新たにマリにおいて感染例が確認されました。その他、米国及びスペインでも感染例が確認されています。

上記の国に渡航予定の方は、不要不急の渡航は延期するなど、現地日本大使館等（リベリア及びシエラレオネについては在ガーナ日本国大使館が兼轄）から常に最新の関連情報を入手し、感染者が発生している地域に近付かないなど、エボラ出血熱の感染予防を心がけてください。

詳細は、本学保健センターホームページをご覧ください。

http://www.hokudai.ac.jp/hoken/blog/ebola_hf_hokekan_140901.pdf

【参考情報】

外務省海外安全ホームページ

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

厚生労働省検疫所

<http://www.forth.go.jp/news/2014/04231037.html>

在ギニア日本国大使館

<http://www.gn.emb-japan.go.jp/j/>

在ガーナ日本国大使館（リベリア及びシエラレオネを管轄）

<http://www.gh.emb-japan.go.jp/j/>

在マリ日本国大使館

<http://www.ml.emb-japan.go.jp/j/index.html>

在ナイジェリア日本国大使館

<http://www.ng.emb-japan.go.jp/j/>

世界保健機関（WHO）

<http://www.who.int/en/>

(危機管理室)

担当：総務企画部総務課

TEL 011-706-2192